



株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2024年9月30日をもって、2024年度(第53期)の上半期を終了いたしましたので、ご報告申し上げます。

### 2024年度上半期決算について

当上半期の連結収支につきましては、収入面では、販売電力量の増加はあるものの、燃料価格下落等に伴う燃料費調整額の減少などにより、売上高は前年同期に比べ32億71百万円減(2.5%減)の1,272億29百万円となりました。

一方、支出面では、石炭およびLNG価格の下落に伴う燃料費の減少などにより、営業費用は前年同期に比べ58億51百万円減(4.7%減)の1,199億45百万円となりました。

この結果、営業利益は72億84百万円、経常利益は68億71百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は53億54百万円となりました。

なお、2024年度通期の連結業績予想につきましては、経常利益は前年度に比べ42億31百万円増の68億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前年度に比べ26億8百万円増の50億円を見込んでおります。

### 配当金について

当社は、2025年度までを財務基盤の回復に注力するリカバリー期間として設定しております。リカバリー期間においては、段階的に配当水準を引き上げ、同期間終了後に従来の配当水準に戻すことを目指しております。

この考え方にに基づき、当期の中間配当につきましては、1株につき10円とさせていただきます。また、期末配当についても中間配当と同じく1株あたり10円(年間20円)を予定しております。

### 企業価値向上に向けて

当社グループは、グループの目指すべき姿として、「総合エネルギー事業をコアとして、ビジネス・生活サポートを通して新しい価値の創造を目指し、地域に生き、共に発展する一体感のある企業グループとして、持続可能な社会の実現に貢献」することを掲げております。

沖縄県経済は、観光関連を中心に経済活動が活性化するなど、緩やかに拡大しており、2025年には本島北部にテーマパークの開業も予定されております。また、米軍基地返還跡地、大型MICE計画等の都市開発計画に加えて、沖縄を「世界に開かれたゲートウェイ」とすることを目的とした大規模なまちづくり計画「GW2050 PROJECTS」が立ち上がるなど、県内のエネルギー需要は増加することが見込まれます。

当社グループは、これからも沖縄の成長に積極的に関わりながら、グループの持続的成長や企業価値向上に力強く取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも当社グループの事業に対し、格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

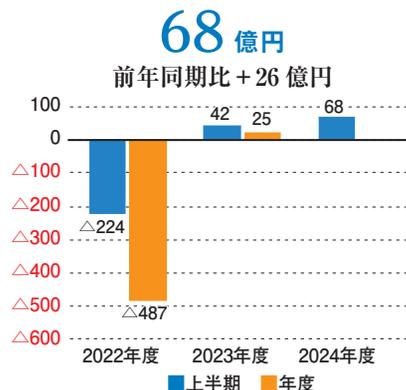
取締役会長 大嶺 満  
取締役社長 本永 浩之

## 2024年度 第2四半期(中間期) 決算概要(連結)

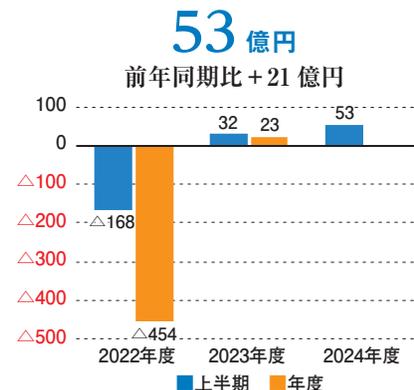
#### 売上高



#### 経常利益



#### 親会社株主に帰属する当期(中間) 純利益



詳しい決算情報、その他当社の取り組みはこちらの二次元コードからご覧いただけます。

決算説明資料



統合報告書

